令和５年度　第８回　学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	狩野　俊

開催日時	令和６年２月６日（火）午後４：00～午後５：50
開催場所	２階会議室
出席者（委員）	岡田会長　村上職務代理　朝枝委員　小川委員　狩野委員　西野委員 福島委員　三箇山委員　佐久間委員
出席者（学校）	佐々木校長、福田副校長、教務主任
傍聴者人数	０名

会議内容（次第順）
学校運営協議会 1.　会長挨拶 2.　校長挨拶 3.　議事録確認 4.　討議事項 5.　その他
主な意見
会長挨拶 大雪で心配だったが、学校も通常通り。生徒会との会合の予定がインフルで延期になった。東京都はコロナもインフルも流行っているので、気をつけたい。 校長挨拶 ２年の一クラスが給食後、校医と相談し学級閉鎖へ。インフルエンザやコロナ対策として、換気、手洗いなどが重要。１月２６日に１年生が鎌倉校外学習へ。初めて電車に乗って移動。スマートフォンの活用が進んでおり、ルート探索や乗換案内に使われた。 CS 委員 コロナワクチンの時は家庭の判断、インフルエンザに関してはどうか。受けない生徒もいるのか。 学校 学校での接種は行っていない。３年生は受験もあるので、受けている生徒が多いのではないか。 司会 資料と前回の議事録を確認。各自問題なく、協議会に入る。

□ 学校経営計画

校長
学校経営計画で、今回変えたのは「自学」のところ。
ICT による個別最適な学びを AI ドリルなどを使う。数学でうまくいっているので、他の教科でもおこなっていく。ESS に関しては予算は付かないので、地域の方の協力を得ながら行っていく。
タブレットも様々な可能性があるのではないかと思い、生徒会活動、行事などでも使っていく。
地域や CS 委員との交流も積極的に行い、多様な価値観の育成につとめていきたい。不登校生徒の居場所作りとして、「杉森ルーム」を週に二回開く。

CS 委員
杉森ルームは、いま週に二回開設、ということになっているが、状況によって増やせるのか。

校長先生
予算の問題もあるが、増やす可能性はある。

□ 令和 6 年度教育課程に関して

教員（教務主任）
現在、CS 委員に配布しているものを、実際に提出したい。検討の過程が見えるように、色分けをしたり、吹き出しを付けるなどして、わかりやすくした。来年度の年間行事予定はまだ調整中。
新しい特色として、従来の国際理解をプレゼンテーション能力向上に変えた。
学習調査は従来のもの、やっていないものを整理した。調査結果は積極的に活用する。
特別活動のタブレットを新しくいれた。
SOS の出し方に関しては文科省のものなどを参考に最新のものに改めた。
杉森ルームも書き加えた。
行事や夏休みなどに関しては、区で基準日を設けているが、学校に裁量があり、その辺の兼ね合いで予定を組んでいきたい。

CS 会長
経営計画と連動して良くできている。良いものが出来たのだから、ファイルにいれてそれっきりというのではなく、日々参照しながら、教育の中で実践していってほしい。

□学校関係評価委員会（大竹 PTA 会長出席、報告：福田副校長）

副校長
学校評価に関しては、杉森独自のものは紙ベースで配布し回収。これらは回収率も肯定率も高かった。今年度から杉並区の調査は WEB での回答となった。リマインドも行ったが平均回答率は 33.7%。肯定率は 24.5%。紙の場合の肯定率は 77%だった。この傾向は杉並区に限らず、他区でも見られる。WEB 回答も２年目になると 50%台に上昇する、とも言われている。
生徒への意識実体調査は、タブレットで年に三回答えてもらった。メリットとしては生徒個々の変容をつかめる。デメリットとしては生徒の全体像がつかみにくい。
全体に肯定率が下がっている。保護者の肯定率も下がっているが、情報が行き届いてないのではないか、または印象に残らないのではないかと推測。
1 年の学年便りなど、持ち回りで 35 号出している、2 年生は学年主任が 65 号出している、3 年生は学年便りはないが、学級担任が出している。情報発信が少ないわけではない。
紙媒体だけではなく、電子でも発信している。
来年度は電子のみで発信していく。そうなると肯定率は上がっていくのではないか。
全国平均とくらべて自己肯定感が低い。学習の動機は自分を向上させること。「わからない」を減らすことが肯定率を上げるのではないか。「どちらでもない」の範囲を少しでも肯定の左側に寄せる工夫、努力が必要。今後は（来年度）は回答率をあげるために、紙での配布も検討すべきではないか。資料の数も多いので。

CS 委員
自己肯定感や地域とのかかわりに関する部分、または人の役に立ちたい等の項目に対する生徒の回答が、東京都の平均より 5 ポイント下がっている。自分でいっぱいいっぱい、という感じなのだろう

か。

CS 委員
回答率が半分に満たない、というアンケートに意味があるのだろうか。いじめに関することで、こういうことは絶対にダメ、という回答が 9 割を割っている、というのは問題。来年度以降、イジメや不登校が増えないか心配。

CS 委員
メールの登録がほぼ 100%なのに、この低い回答率はどうなのか。小学校でもネットでの回答は、回答率が低くなるという傾向がある、このままでいいのだろうか。
自己肯定感の低さは勉強が出来たとしても、人間力の育みとしてどうなのかな、と思う。

CS 委員
このアンケートがどこまで実態を反映しているかは不透明な部分があるが、全体的にネガティブなイメージを受ける。心配だな、と思う数字。

PTA 会長
いままでこのようなアンケートがこんなに真剣に話されて、教育に反映されているのを知らなかった。学校の取り組みが一方通行になっている部分もあるのではないか。こういう取り組みがあることを、保護者にどう伝えていくのか。

CS 会長
web での調査方法も、先生方の働き方改革の問題もある。web は良くも悪くもあり、回答率は紙とくらべてどうしても下がるだろう。経年変化を見ていくことも大事。

校長先生
いじめや SNS に対しては組織的に対応していくようにしている。

CS 委員
イジメられた子に対する周りの反応がとても大事。「仕方がない」とか「きずき言葉」で応じるのではなく「どんなことでも良くない」というのが重要ではないか。

次回の会議日程

日時	令和 6 年 3 月 9 日（土）午前 10 時 40 分から
会場	杉森中学校